

主催	プログラム	留学先	期間	教育研究活動内容及び成果	法政大学における認定単位数	評価方法
グローバル教育センター	派遣留学	オーストラリア アメリカ イギリス 中国 台湾 タイ ドイツ オーストラリア オランダ ベルギー フランス デンマーク スウェーデン スペイン イタリア オーストラリア 韓国	4～11ヶ月	派遣先大学では、専攻分野の科目を中心に専攻分野の幅を広げる関連分野の科目も履修する。授業は講義形式だけでなく、ゼミ形式の少人数のものやProject Based Learning形式のものを必ず履修し、異なる考え方や背景を持つ現地の学生や他の留学生とのディスカッションや相互学習を重視する。多くの大学では、実務経験のある講師が授業を担当しており、地域企業と共同で新規事業提案をする授業など日本では経験することが難しい社会と繋がった学びにより、培った知識を知恵に変えることを目指す。その中で、派遣学生は実践的に語学を使用する機会が得られ、語学力だけでなく本質的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。 また、専攻分野の深化だけでなく、グローバル人材として活躍するために必要とされる広く多角的・学際的な知識や視野を身に付け、異文化間の考え方の違いを乗り越える理解力と相手に自身の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。事前に学習計画を国際交流課スタッフと所属学部教員で確認し、現地での履修が本学での学びをさらに飛躍される内容か、学生の将来のキャリアに繋がる内容かを確認する。留学開始前後にグローバル人材に必要なリテラシーと行動特性を測定し可視化するテストを実施する。結果は担当講師によりフィードバックされ、留学前には留学に対する目標を明確化し、留学後には自身の成長を可視化することで今後のキャリアに活用することができる。また、大学にも全体データとして提供され、一般学生のデータと比較することで留学が学生に与えた影響の比較を行う。帰国後には派遣留学生全員と個別面談を行うほか、報告書の提出を義務付けることで、学生の内面の成果も把握する。	最大30～60単位 各学生の学生状況による。	現地機関より成績証明書が発行された。
グローバル教育センター	認定海外留学	アメリカ オーストラリア	4～11ヶ月	派遣留学と同じく留学先大学では、専攻分野の科目を中心に専攻分野の幅を広げる関連分野の科目も履修する。授業は講義形式だけでなく、ゼミ形式の少人数のものやProject Based Learning形式のものを必ず履修し、異なる考え方や背景を持つ現地の学生や他の留学生とのディスカッションや相互学習を重視する。多くの大学では、実務経験のある講師が授業を担当しており、地域企業と共同で新規事業提案をする授業など日本では経験することが難しい社会と繋がった学びにより、培った知識を知恵に変えることを目指す。その中で、派遣学生は実践的に語学を使用する機会が得られ、語学力だけでなく本質的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。 また、専攻分野の深化だけでなく、グローバル人材として活躍するために必要とされる広く多角的・学際的な知識や視野を身に付け、異文化間の考え方の違いを乗り越える理解力と相手に自身の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。事前に学習計画を国際交流課スタッフと所属学部教員で確認し、現地での履修が本学での学びをさらに飛躍される内容か、学生の将来のキャリアに繋がる内容かを確認する。認定海外留学では、留学先の正規授業を履修するために必要な語学要件を満たしていない学生のために、1学期目を付属語学学校にて英語学習を行う条件付きプログラムも用意している。条件付きのプログラムに参加する学生には、渡航前から留学後の2学期目に向けて英語力を伸ばすように指導している。 留学開始前後にグローバル人材に必要なリテラシーと行動特性を測定し可視化するテストを実施する。結果は担当講師によりフィードバックされ、留学前には留学に対する目標を明確化し、留学後には自身の成長を可視化することで今後のキャリアに活用することができる。また、大学にも全体データとして提供され、一般学生のデータと比較することで留学が学生に与えた影響の比較を行う。帰国後には派遣留学生全員と個別面談を行うほか、報告書の提出を義務付けることで、学生の内面の成果も把握する。	最大30～60単位 各学生の学生状況による。	現地機関より成績証明書が発行された。
グローバル教育センター	短期語学研修	フィリピン 韓国	2～4週間	ラブラプセブ国際大学では、Filipino Food Cultureと題しフィリピンの食文化をテーマにした講義がプログラムに組み込まれており、食文化という身近なテーマを通して異文化理解や多様性について学んだ。 建国大学では、韓国語の学習に加え韓国の政治・経済・文化を学び、実践的に韓国語を使用するスキルや異文化理解力を修得した。実際に、国会議事堂、企業、博物館訪問を訪問し、韓国についてより実践的に学ぶことができた。 両プログラムとも、帰国後には報告書及びアンケート作成を通じて研修での学びの振り返りを行った。	所属学部に応じ、1～2単位	現地機関より成績証明書が発行された。
グローバル教育センター	グローバルシナジー	フィリピン	3週間	Intercultural Collaborative Learning (国際共修)をベースとしてプログラムとなっており、Empowering Education (自立した生活を旨とする教育)、Sustaining Life on Land (陸の生態系の保護)、History of Nikkeijin in Davao City (ダバオの日本人の歴史)という3つのテーマについて、本学学生と現地学生がフィールドワークを行い、最終的にグループプレゼンテーションを行った。 プログラムを通じて、自発的に行動する力、英語力を含めたコミュニケーション能力、異文化理解力を高めることができた。	なし	現地機関より修了書が発行された。
国際文化学部	SA	イギリス アメリカ カナダ ドイツ フランス 中国	3ヶ月 4ヶ月 4ヶ月 4ヶ月 4ヶ月 4ヶ月 3ヶ月 3ヶ月 5ヶ月 5ヶ月 4ヶ月	英語授業を通じ、他国留学生とともにアカデミックな英語力を向上させることができた。また、特別カリキュラムによるメディアや社会学に関する英国研究の双方向的な講義授業の受講や、フィールドトリップを通じ、現地文化に対する理解を深めることができた。 前半のUndergraduate Pre-sessionalと、後半のAcademic English for Undergraduate Studyの2つの構成となっており、日常レベルの英語能力向上はもちろん、論文の読み方、図書館・資料の使い方、プレゼンテーションや議論の仕方など、よりアカデミックで多岐にわたるスキルを習得できた。また、各個人の目標や興味に応じた選択科目を受講した。 前半・後半で2つのプログラム構成となっており、前半のCommunication and Culture Programでは4つのコアクラス(Intercultural Research Project, U.S. Society and Culture, Listening and Pronunciation, Everyday Expressions and Idioms)を通じて基本的な語学力向上するとともに、アメリカ文化への理解を深めることができた。後半のAcademic Engagement Trackではレベル別クラスに分かれ、語学を集中的に学習した。 語学授業を通じ、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのスキルを向上させた。また、アメリカの社会、文化などの講義科目を受講することにより、多面的な気づきを得ることができた。 前半・後半で2つのプログラム構成となり、本学向けのオリジナルプログラムである前半のPre Courseでは、アメリカ文化・社会に関する授業の受講や洋書原文の精読、フィールドトリップ、ボランティア活動を行った。後半は外国人留学向けに特別に編成されたプログラムを受講し、語学力を向上させることができた。 まずは語学学習(スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、グラマー)を行い、語学レベルが向上すると英語圏の大学で学ぶためのアカデミックスキルを中心に学び総合的に語学力を向上させることができた。 レベル応じて各種アカデミックスキル(講義の聴き方、ノートの取り方、ディスカッション、プレゼンテーション)などを学修した。また、現地到着直後のオリエンテーション等を通じ、留学生や現地の学生との交流の機会を得た。 語学学習(スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、グラマー)に加え、ビジネス英語、ポピュラーカルチャーなども選択し、語学力を向上させることができた。 プログラム開始から4週間は他の留学生と合同でドイツ語集中講座とオリエンテーションコースを受講し、現地の勉強と生活環境への適応をはかった。この集中講座後は大学が開講する正規の講義科目、語学科目(ドイツ語講座「ドイツの文化と社会」と題する講義、「文化と歴史」政治と経済「メディアと情報」「サステイナビリティ」がテーマの講義)を受講し、現地学生とともにアカデミックな学習をすることができた。 本学独自の2週間のオリエンテーションプログラムを受講後、初級から上級までレベル分けされたクラスにおいて、会話、作文、書き取り、聴き取り、発音、文法に加えて、選択によって英仏翻訳、仏日翻訳、美術史、哲学、ビジネスフランス語、ヨーロッパの政治、文学、歴史、イメージと文化などを履修した。 午前に精読、会話、聴解を中心とした授業を受け、語学能力を向上させた。午後には中国文化に関する授業も受講した。さらに中国経済の中心地である上海での各種見学会、古都・西安、北京への研修旅行も実施し、中国文化への造形を深めた。	通常16単位(最大22単位)	現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書及び修了証が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。 現地機関より成績証明書及び修了証が発行された。 現地機関より成績証明書が発行された。

主催	プログラム	留学先		期間	教育研究活動内容及び成果	法政大学における認定単位数	評価方法
		スペイン	バルセロナ大学	5ヶ月	スペイン語の授業の他に、スペイン史、スペイン美術、スペイン地理など幅広いテーマでスペインに関する知識を深める。また、カタルーニャ独自の文化を学ぶ授業を受講し、カタルーニャに関する知識も深めた。		現地機関より成績証明書が発行された。
キャリアデザイン学部	キャリア体験学習(国際)	台湾	元智大学	10ヶ月	現地での活動に必要な最低限の中国語を学んだ。研修に必要な知識を身につけ、現地台湾の歴史、政治、社会、文化、今後の課題について理解した。また、本研修を通じて、現代の台湾(LGBTQ、新型コロナウイルス感染症など)について学び、日本と台湾との繋がりや将来について理解を深めた。	2単位×2=4単位	担当教員が、当該プログラムへの参加姿勢及び春学期に行う事前指導と秋学期に行う事後指導における課題への取り組み等を通して、評価をする。
GIS	OAS	アメリカイギリス	サンホセ州立大学 サセックス大学	4ヶ月	本プログラムでは留学開始までに英語で専門科目を受講するためのアカデミック・スキルを十分に身に付けた2年次もしくは3年次の学生が海外の協定校において、前述の多様な分野の科目を受講し、現地の学生とともに4ヶ月から10ヶ月の間、集中的に学ぶことで、論理的・批判的思考能力、知的枠組みと自由な発想、多文化社会への理解、語学運用能力、表現力とコミュニケーション能力などを養い深めた。派遣前後にTOEFL-ITPを実施し、英語力の向上を測定している。	最大20単位(1セメスター) 各学生の学生の履修状況による。	現地機関より成績証明書が発行された。
経済学部	SA	イギリス カナダ	シェフィールド大学 ブロッック大学	4ヶ月～5ヶ月	2プログラム共に、現地機関オリジナルの語学授業と、本学部と現地校のカスタマイズによる授業の二本立てで構成されている。通常の語学授業については、現地校にてプレシメントテストを実施の上、レベルに応じたクラスに参加した。一般の座学授業だけでなく、プレゼンテーションを行う授業等、現地の文化に触れながら活きた英語を学ぶ機会を得た。加えて、出発前4ヶ月間に渡り実施される「留学準備講座」(事前指導)、現地で毎月作成する中間報告レポート(中間指導)、帰国後に行われる帰国後レポートや帰国報告会(事後指導)により、留学による16単位に加え、合計2単位が認定された。出発5～6ヶ月前にあたる10月にTOEIC IP試験を受検し、帰国後に再度TOEIC IP試験を受検する	最大16単位+2単位	現地機関より成績証明書が発行された。また、1学期かけて行う事前指導、留学終了後の事後指導を通じて評価する。
社会学部	SA	中国	北京師範大学	4ヶ月	「読解・作文」「会話」「聞き取り」のプログラムが用意されており、レベルが高いクラスには「新聞読み取り」のプログラムも用意され、学生は自身の語学習得度に合わせた授業を履修することができた。日本人コミュニティの会や日本語学科所属の中国人との交流会も用意されており、中国文化・社会に溶け込みやすく、また、そうした環境を活用して語学力を向上させることができた。加えて、出発前5日間に渡り「語学研修」(事前指導)、現地で毎月作成する月例報告(中間指導)、帰国後に行われる帰国後課題や帰国報告会(事後指導)により、留学による16単位の認定がされた。出発12ヶ月前にあたる9月にHSK試験を受検し、帰国後に再度HSKP試験を受検する。	16単位	現地機関より成績証明書・修了証明書が発行された。また、事前指導、留学中の中間指導、留学終了後の事後指導を通じて評価する。
スポーツ健康学部	スポーツ健康学演習	アメリカ	ボイシー州立大学	10日間	本研修は、米国ボイシー州立大学のIntensive English Programに参加し、英語運用能力の向上と異文化理解を目的として実施される短期研修である。参加学生は事前にオンライン英語能力テストを受検したうえで、現地にて約1週間(15時間)の英語集中授業を受講する。また、英語学習に加えて、文化理解や専門的内容に関するアクティビティにも参加し、現地学生や教員との交流を通じて実践的な英語使用機会を得る。研修終了後には参加証明書が授与される。 本研修を通じて、学生は英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、海外大学の教育環境、特にスポーツ施設等の環境と大学スポーツがビジネスとして成り立つ仕組みや地域の人々に経済的にもサポートされている場面等を体験することでスポーツに関連した国際的視野をも広げることができる。また、英語を実際の授業や文化・生活活動の中で使用することで、実践的な語学力の向上と異文化理解の深化が期待される。さらに、海外の学生・教員との交流を通して、将来の国際的な学習・研究活動への意欲を高める効果も期待される。	2単位	現地機関より修了証明書が発行された。また事前指導、留学中の活動内容、留学終了後の事後指導(プレゼンテーション含む)を通じて評価する。
理工学部	SA	マレーシア アメリカ	マラエ科大学 カリフォルニア大学デイヴィス校	マラエ科大学: 約2週間 カリフォルニア大学 デイヴィス校:約4 週間	マラエ科大学: 2025年度の本プログラムの教育的目標として、参加学生の以下の力を育成することが掲げられた。 ・国際混成チームでの課題定義・設計・組立・プログラミング・制御の実践力 ・英語による議論・技術報告・プレゼンテーション能力 ・限られた時間・資料の中での試行錯誤、データ整理、タイムマネジメント力 2025年度のミッションは、LEGO Mindstorms EV3を用いたライントレースロボット競技であり、自律型2台のロボットを連携させてコース上のミッションをクリアし、ゴールを目指すことが課題とされた。ロボットの機構設計、組立、プログラミング・制御の最適化が大きなチャレンジとなった。 さらに、技術的な内容の演習に加えて、文化交流や宿泊体験を通じ、専門と英語の学習と異文化理解を統合的に経験した。 カリフォルニア大学デイヴィス校:カリフォルニア大学デイヴィス校:本プログラムは約4週間の現地大学でのプログラムと本学での事前学習・事後学習で構成されている。学生は英語能力の向上・現地文化への知識を深めることを目的としたCommunication and Culture Programと、科学技術分野を英語で学習するEnglish for Science and Technologyプログラムの2種類から選択可能である。現地滞在期間はホームステイを実施した。異なる文化を持つ学生同士での積極的な交流やプレゼンテーション・ポスター発表等を通じて、語学力・コミュニケーション能力・チャレンジ精神が育まれた。	2単位	担当教員が事前授業、留学先における学習状況、帰国後に実施する報告発表会の内容をもとに評価する。
生命科学部	SA	アメリカ	カリフォルニア大学デイヴィス校	カリフォルニア大学 デイヴィス校:約4 週間	カリフォルニア大学デイヴィス校:本プログラムは約4週間の現地大学でのプログラムと本学での事前学習・事後学習で構成されている。学生は英語能力の向上・現地文化への知識を深めることを目的としたCommunication and Culture Programと、科学技術分野を英語で学習するEnglish for Science and Technologyプログラムの2種類から選択可能である。現地滞在期間はホームステイを実施した。異なる文化を持つ学生同士での積極的な交流やプレゼンテーション・ポスター発表等を通じて、語学力・コミュニケーション能力・チャレンジ精神が育まれた。	2単位	担当教員が事前授業、留学先における学習状況、帰国後に実施する報告発表会の内容をもとに評価する。
情報科学部	SA	マレーシア	ブトラマレーシア大学	4週間	本プログラムは、3週間の現地語学学校での語学研修と、提携大学での1週間の講義・演習・実習の2本立てとなっている。語学研修は、プレシメントテストを実施し、他国から来ている留学生もいるクラスで、レベルに応じた英語研修を行った。事後に行った学生のアンケートによると、マレーシアでの語学学校としては数年にわたり最高の賞を受けている語学プログラムで、他国の学生と混じって行った英語研修はとても有意義なものであったようである。事後に行ったTOEICの点数をみても、100点以上あった学生も多く、語学研修としては成功していると言える。提携大学での講義・演習・実習も、先方が学生の興味を持ちやすいようなプログラムを組んで下さり、マレーシアに置けるAI研究や、画像処理などの講義をうけ、最先端の研究に触れることができた。学生のアンケートにおいても、日本で学習している内容が、世界でも同じように使われていることに感動した、世界における最先端の研究を知ることができて刺激になったなどの感想があり、参加学生の今後の研究の刺激になったと言える。	2単位	担当教員が事前ガイダンスの取組姿勢と留学先における学習状況、帰国後に実施する報告発表会の内容をもとに評価する。

※本学では、1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。